

企業物流短期動向調査（日通総研短観） 調査結果

（2015年3月調査）

2015年4月

株式会社 日通総合研究所

目次

I. 調査の内容.....	1
II. 調査の結果.....	3
1. 国内向け出荷量の動向	3
2. 輸送機関利用の動向	7
(1) 一般トラック	8
(2) 特別積合せトラック	9
(3) 宅配便	10
(4) 鉄道コンテナ	11
(5) 内航コンテナ	12
(6) 国内航空	13
3. 輸出入貨物量の動向	14
(1) 外貿コンテナ ー輸出ー	15
(2) 外貿コンテナ ー輸入ー	16
(3) 国際航空 ー輸出ー	17
(4) 国際航空 ー輸入ー	18
4. 在庫量と営業倉庫利用の動向	19
(1) 在庫量 ー原材料ー	20
(2) 在庫量 ー製品ー	21
(3) 営業倉庫保管量	22
5. 運賃・料金の動向	23
(1) 一般トラック運賃	24
(2) 特別積合せトラック運賃	25
(3) 鉄道コンテナ運賃	26
(4) 内航コンテナ運賃	27
(5) 国内航空運賃	28
(6) 営業倉庫保管料金	29
6. 物流コスト割合の動向	30

I. 調査の内容

目的 : 本調査は、足もとの出荷状況等を各企業（事業所）の物流担当者に直接回答していただくことで、荷主企業の物流動向について業種横断的かつ包括的な情報を、データの形で迅速に公の場に提供することを目的として実施するものである。

方法 : 本調査はアンケート方式により、四半期ベース（3月、6月、9月、12月の年4回）で実施する。

調査項目は次のとおりであり、当期実績見込みと次期見通しを対前年同期比「増加する」、「横ばい」、「減少する」もしくは「値上り」、「変わらない」、「値下り」等の3つの選択肢の中から選択回答する。

1. 国内向け出荷動向
2. 輸送機関別利用動向（一般トラック、特別積合せトラック、宅配便、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空）
3. 輸出入貨物の動向（外貿コンテナ、国際航空）
4. 在庫量（原材料、製品）と営業倉庫利用の動向
5. 運賃・料金の動向（一般トラック、特別積合せトラック、鉄道コンテナ、内航コンテナ、国内航空、営業倉庫保管）
6. 売上高に対する物流コスト割合の動向

集計は、調査項目ごとに各選択肢の回答事業所数を集計し、その合計事業所数に対する割合を算出、以下により動向判断指標^(*)とする。

$$\text{動向判断指標} = \left[\begin{array}{l} \text{「増加する（値上り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right] - \left[\begin{array}{l} \text{「減少する（値下り）」と} \\ \text{回答した事業所割合} \end{array} \right]$$

なお、この指標は荷動き等に対する各事業所の（定性的な）動向を集約するものであり、この結果がそのまま全体としての（定量的な）出荷量などの増減を意味するものではない。

(*) 動向判断指標：本調査では、調査項目に応じて『荷動き指数』、『運賃動向指数』等の名称を付している。

調査対象 : 製造業、卸売業の主要2,500事業所を対象とする。

－今回調査の回収・集計状況－

今回調査は、2015年1～3月の実績と2015年4～6月の見通しを3月初旬時点でうかがったものであり、1,016社からご協力をいただき、回答率は40.6%となった。

なお、業種別にみた調査対象企業数、回答企業数ならびに回答率は、次表のとおりである。

調査対象企業数と回答企業数

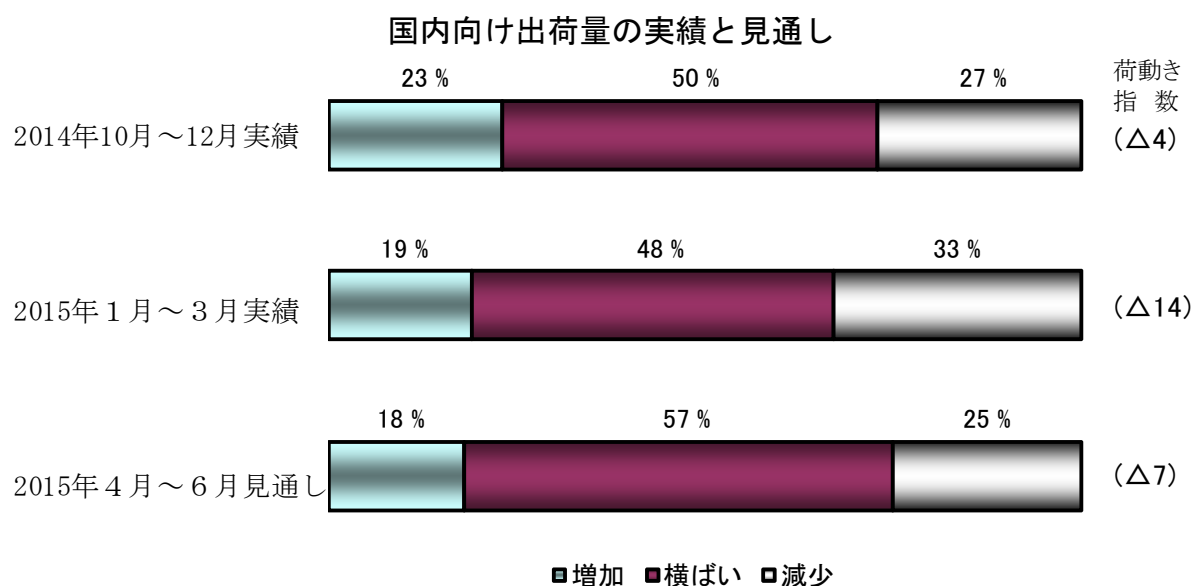
業 種		調査対象 企業数	回 答 企業数	回答率(%)
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	232	96	41.4
	繊 維 ・ 衣 服	111	40	36.0
	木 材 ・ 家 具	95	42	44.2
	パ ル プ ・ 紙	107	46	43.0
	化学・プラスチック	239	109	45.6
	窯 業 ・ 土 石	102	34	33.3
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	195	102	52.3
	金 属 製 品	128	58	45.3
	一 般 機 械	222	87	39.2
	電 気 機 械	333	129	38.7
	輸 送 用 機 械	251	88	35.1
	精 密 機 械	68	24	35.3
	そ の 他	167	56	33.5
	計	2,250	911	40.5
卸 売 業	生 産 財	124	51	41.1
	消 費 財	126	54	42.9
	計	250	105	42.0
合 計		2,500	1,016	40.6

Ⅱ. 調査の結果

－ 1. 国内向け出荷量の動向－

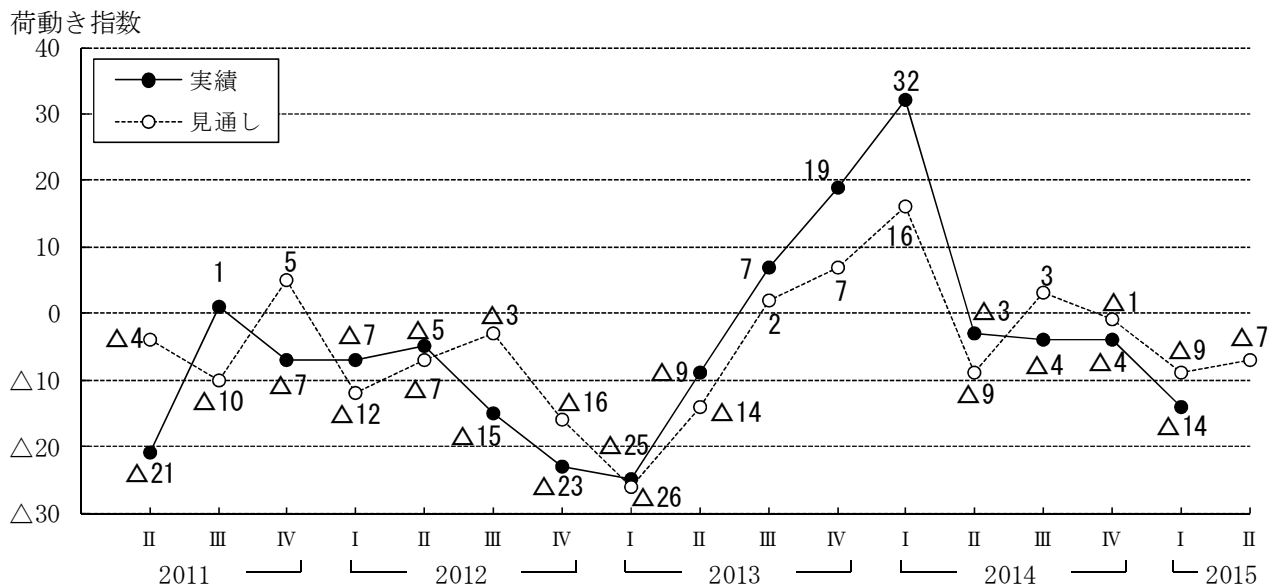
■ 2015年1～3月実績（見込み）における国内向け出荷量の動向をみると、前年同期比で「増加」との回答が前期（2014年10～12月）実績より4ポイント低下し19%となった。一方、「減少」との回答は前期より6ポイント増加して33%となり、この結果『荷動き指数』（＝「増加」の回答割合－「減少」の回答割合）は10ポイント低下して△14となった。

■ 2015年4～6月見通しの出荷量については、前年同期比で「増加」との回答が前期（2015年1～3月）実績（見込み）からは弱含み横ばいで推移し18%となる一方、「減少」との回答は8ポイント低下し25%になる。この結果、『荷動き指数』は7ポイント上昇して△7と見込まれる。



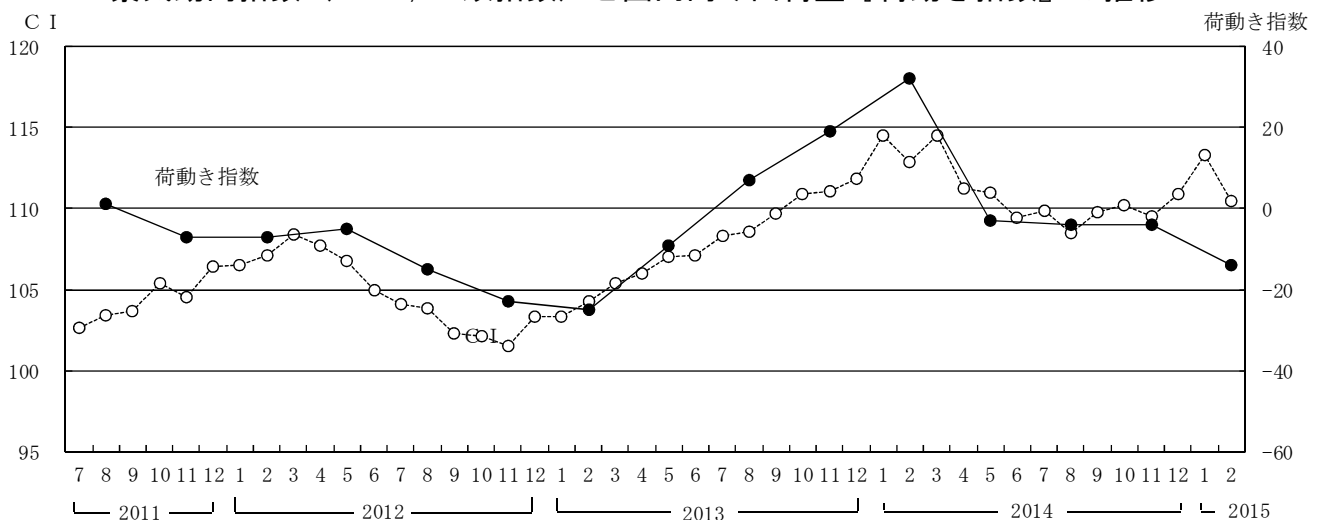
■ 今回調査の『荷動き指数』を前回までの調査と比較すると、消費税増税前の駆け込み需要の発生などを受けて、2014年1～3月実績ではプラス32と、本調査を開始した2002年以降では最高値を示した。しかし、駆け込み需要の反動などから、4～6月実績では一転して35ポイントの大幅な下降となり、7～9月実績、10～12月実績でも△4と低調に推移した。さらに、2015年1～3月実績（見込み）では、前年同期における大幅な盛り上がりの反動もあって、△14と一段の悪化がみられた。しかし、4～6月見通しにおいては△7と、若干の改善が見込まれている。

荷動きの実績（見込み）と見通しの『荷動き指数』



注) 点線は各期に入る前の時点の見通しにおける『荷動き指数』（2015年I期の『荷動き指数』は今回調査時点の見通し）、実線は各期の途中の時点で判断した実績見込みの『荷動き指数』（2014年IV期の『荷動き指数』は今回調査における判断）。

景気動向指数（C I；一致指数）と国内向け出荷量『荷動き指数』の推移



注) 1. 荷動き指数は四半期ごとの数値のため、2月、5月、8月、11月の位置にプロットしている。
2. 景気動向指数研究会によると、第15循環における景気の山は2012年4月（暫定）、景気の谷は2012年11月（暫定）となっている。

■ 2015年1～3月の業種別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、全15業種中12業種において前期（2014年10～12月）実績よりも低下した。食料品・飲料および精密機械がプラスで、残り13業種がマイナスとなった。

■ 2015年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、化学・プラスチックおよび消費財卸がプラスに浮上するなど、11業種において改善が見込まれる。しかし、プラスの業種は4業種にとどまり、残り11業種がマイナスになるものとみられる。

国内向け出荷量の実績と見通し（業種別）

業 種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	94	23	58	19	4	94	29	57	14	15
繊維・衣服	40	17	53	30	△13	40	14	58	28	△14
木材・家具	40	17	30	53	△36	40	12	43	45	△33
パルプ・紙	46	9	48	43	△34	46	13	59	28	△15
化学・プラスチック	106	13	56	31	△18	106	20	63	17	3
窯業・土石	34	15	50	35	△20	34	24	47	29	△5
鉄鋼・非鉄	98	19	44	37	△18	98	14	57	29	△15
金属製品	56	16	46	38	△22	56	16	55	29	△13
一般機械	85	29	40	31	△2	85	22	50	28	△6
電気機械	127	24	45	31	△7	127	14	58	28	△14
輸送用機械	83	18	47	35	△17	83	17	55	28	△11
精密機械	24	25	63	12	13	24	20	63	17	3
その他	56	10	63	27	△17	56	17	63	20	△3
計	889	19	49	32	△13	889	18	57	25	△7
卸売業										
生産財	51	24	25	51	△27	51	21	55	24	△3
消費財	53	19	45	36	△17	53	26	61	13	13
計	104	21	36	43	△22	104	24	58	18	6
合計	993	19	48	33	△14	993	18	57	25	△7

■ 2015年1～3月の地域別『荷動き指数』実績（見込み）をみると、九州・沖縄で唯一プラスを示したが、残り8地域ではマイナスとなった。前期（2014年10～12月）実績との比較では、東北において唯一改善がみられる一方、残り8地域では低下した。

■ 2015年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、東北で悪化する一方、残り8地域においては改善の動きがみられる。しかし、プラスの地域は関東および九州・沖縄の2地域にとどまり、総じて改善傾向にはあるものの、回復の足取りは依然として鈍い。

国内向け出荷量の実績と見通し（地域別）

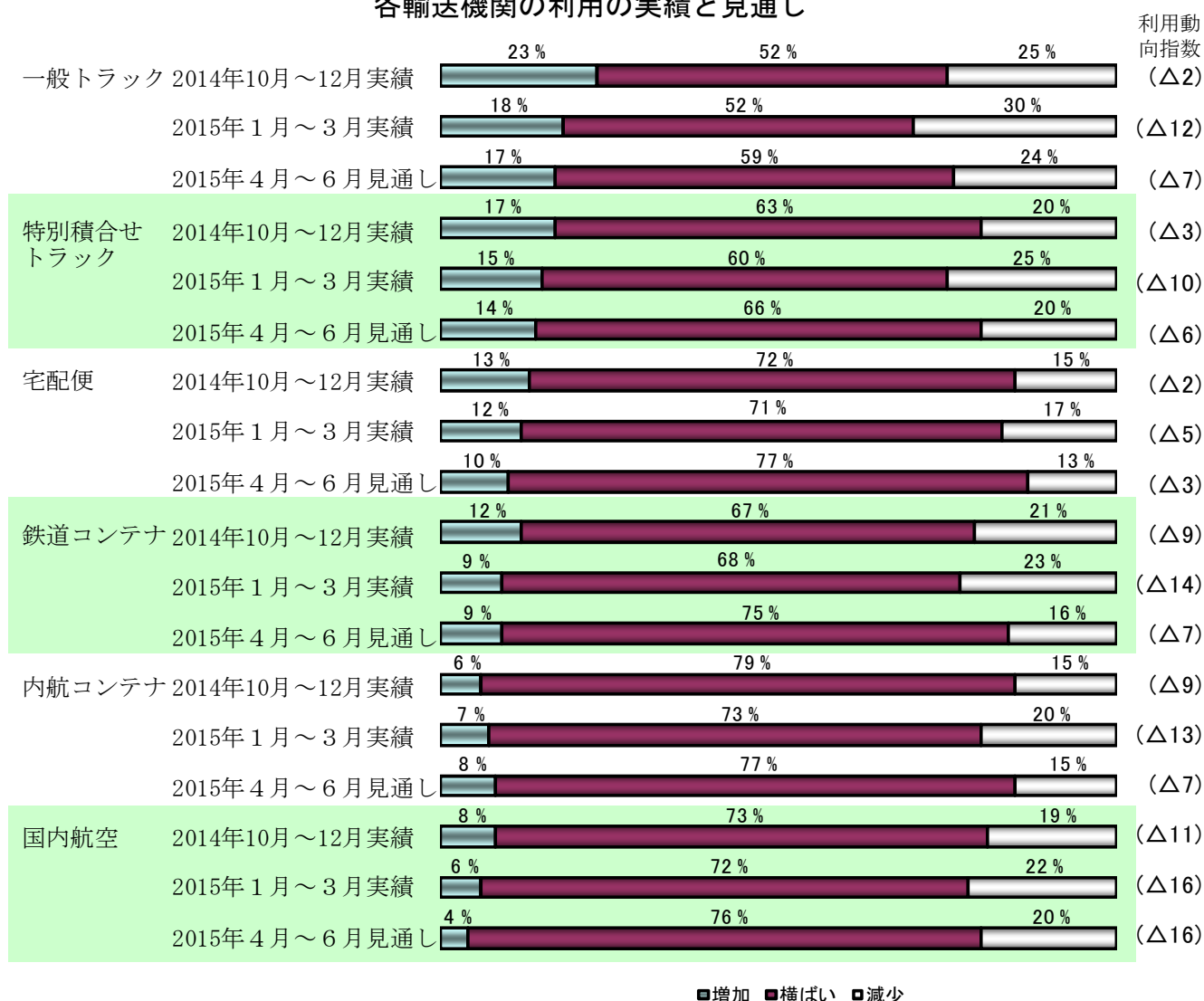
地 域	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
北 海 道	45	12	44	44	△ 32	45	18	58	24	△ 6
東 北	95	20	53	27	△ 7	95	16	59	25	△ 9
関 東	254	21	45	34	△ 13	254	22	57	21	1
北 陸 ・ 信 越	91	21	48	31	△ 10	91	19	55	26	△ 7
東 海	159	18	41	41	△ 23	159	16	52	32	△ 16
近 畿	148	19	48	33	△ 14	148	20	56	24	△ 4
中 国	84	20	55	25	△ 5	84	19	58	23	△ 4
四 国	50	16	36	48	△ 32	50	18	46	36	△ 18
九 州 ・ 沖 縄	67	21	64	15	6	67	19	71	10	9
合 計	993	19	48	33	△ 14	993	18	57	25	△ 7

－ 2. 輸送機関利用の動向－

■ 2015年1～3月実績（見込み）の輸送機関別『利用動向指数』は、すべての輸送機関において前期（2014年10～12月）実績よりも悪化した。この結果、すべての輸送機関において『利用動向指数』はマイナスを示している。

■ 2015年4～6月の見通しでは、国内航空において『利用動向指数』が横ばいで推移する一方、その他の輸送機関では改善方向に動く。しかし、引き続きすべての輸送機関において『利用動向指数』がマイナスとなり、利用の減退が続く見通しである。

各輸送機関の利用の実績と見通し



(1) 一般トラック

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料および精密機械がプラスで、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2014年10～12月）実績から10ポイント低下して△12となった。

■ 2015年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチック、その他の製造業、消費財卸の3業種がプラスに浮上するなど、11業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と5ポイント上昇の見通しであるが、利用は引き続き減退するとみられる。

一般トラック利用の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	93	19	63	18	1	92	25	59	16	9	
繊維・衣服	33	15	67	18	△3	33	12	61	27	△15	
木材・家具	40	19	33	48	△29	39	10	54	36	△26	
パルプ・紙	45	9	49	42	△33	45	13	58	29	△16	
化学・プラスチック	107	16	55	29	△13	107	19	64	17	2	
製造業	窯業・土石	33	18	49	33	△15	33	21	49	30	△9
	鉄鋼・非鉄	99	18	50	32	△14	97	15	60	25	△10
	金属製品	58	14	52	34	△20	57	14	60	26	△12
	一般機械	86	27	44	29	△2	87	20	57	23	△3
	電気機械	121	22	52	26	△4	121	11	60	29	△18
	輸送用機械	84	20	48	32	△12	84	20	50	30	△10
	精密機械	21	19	76	5	14	21	14	76	10	4
	その他	55	15	58	27	△12	54	22	59	19	3
	計	875	19	52	29	△10	870	17	59	24	△7
	卸売業	生産財	47	17	34	49	△32	47	13	66	21
消費財		51	18	55	27	△9	51	25	61	14	11
計		98	17	45	38	△21	98	19	64	17	2
合計	973	18	52	30	△12	968	17	59	24	△7	

(2) 特別積合せトラック

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、精密機械が唯一プラスで、残り14業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2014年10～12月）実績から7ポイント低下して△10となった。

■ 2015年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、化学・プラスチック、生産財卸、消費財卸の3業種がプラスに浮上し、食料品・飲料、パルプ・紙、その他の製造業の3業種もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△6と4ポイント上昇する見通しであるが、利用は引き続き減退するとみられる。

特別積合せトラック利用の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	68	14	65	21	△7	67	19	62	19	0
繊維・衣服	31	16	58	26	△10	31	16	65	19	△3
木材・家具	26	12	50	38	△26	26	4	46	50	△46
パルプ・紙	27	18	52	30	△12	27	15	70	15	0
化学・プラスチック	93	11	65	24	△13	93	17	73	10	7
製 窯業・土石	26	8	69	23	△15	26	7	62	31	△24
造 鉄鋼・非鉄	60	10	60	30	△20	59	5	73	22	△17
業 金 属 製 品	39	10	62	28	△18	39	5	74	21	△16
一 般 機 械	66	17	56	27	△10	66	18	50	32	△14
電 気 機 械	90	22	52	26	△4	89	15	58	27	△12
輸 送 用 機 械	70	14	66	20	△6	69	12	72	16	△4
精 密 機 械	17	12	82	6	6	17	6	94	0	6
そ の 他	41	10	61	29	△19	40	13	74	13	0
計	654	14	61	25	△11	649	13	66	21	△8
卸 生 産 財	37	24	41	35	△11	37	19	65	16	3
業 消 費 財	39	15	64	21	△6	39	21	72	7	14
計	76	19	53	28	△9	76	20	68	12	8
合 計	730	15	60	25	△10	725	14	66	20	△6

(3) 宅配便

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品および一般機械がプラスで、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2014年10～12月）実績から3ポイント低下して△5となった。

■ 2015年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、一般機械がマイナスに沈む一方、その他の製造業および生産財卸がプラスに浮上し、食料品・飲料およびパルプ・紙もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△3と2ポイント上昇する見通しであり、利用の減退は続くが、減退圧力は若干緩和されるとみられる。

宅配便利用の実績と見通し

業 種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	74	6	80	14	△8	73	12	76	12	0	
繊維・衣服	33	15	67	18	△3	33	9	73	18	△9	
木材・家具	33	12	58	30	△18	33	6	70	24	△18	
パルプ・紙	24	8	75	17	△9	24	13	74	13	0	
化学・プラスチック	84	2	81	17	△15	84	7	83	10	△3	
窯業・土石	25	4	84	12	△8	25	0	88	12	△12	
鉄鋼・非鉄	61	6	79	15	△9	61	5	82	13	△8	
金属製品	48	17	71	12	5	47	15	81	4	11	
一般機械	81	22	66	12	10	81	12	73	15	△3	
電気機械	111	14	70	16	△2	110	5	77	18	△13	
輸送用機械	73	12	74	14	△2	73	8	80	12	△4	
精密機械	24	4	83	13	△9	24	4	88	8	△4	
その他	44	20	57	23	△3	43	21	67	12	9	
計	715	11	73	16	△5	711	9	78	13	△4	
卸売業	生産財	40	15	55	30	△15	40	20	65	15	5
	消費財	47	14	60	26	△12	47	13	72	15	△2
	計	87	15	57	28	△13	87	16	69	15	1
合計	802	12	71	17	△5	798	10	77	13	△3	

(4) 鉄道コンテナ

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、繊維・衣服および精密機械がプラスで、残り13業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は、前期（2014年10～12月）実績から5ポイント低下して△14となった。

■ 2015年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、食料品・飲料がプラスに浮上し、金属製品もゼロ水準まで戻すなど、11業種において改善の動きがみられる。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と7ポイント上昇する見通しであるが、利用は引き続き減退するとみられる。

鉄道コンテナ利用の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	48	16	63	21	△5	48	19	69	12	7
	繊維・衣服	14	36	57	7	29	14	21	65	14	7
	木材・家具	20	5	65	30	△25	19	11	63	26	△15
	パルプ・紙	35	5	69	26	△21	35	6	74	20	△14
	化学・プラスチック	79	6	76	18	△12	79	7	84	9	△2
	窯業・土石	13	0	77	23	△23	13	0	62	38	△38
	鉄鋼・非鉄	40	9	73	18	△9	40	12	73	15	△3
	金属製品	18	5	78	17	△12	18	6	88	6	0
	一般機械	35	6	74	20	△14	35	8	69	23	△15
	電気機械	33	6	67	27	△21	33	3	88	9	△6
	輸送用機械	35	11	49	40	△29	35	9	57	34	△25
	精密機械	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
	その他	23	13	52	35	△22	23	13	70	17	△4
計	402	9	68	23	△14	401	10	74	16	△6	
卸売業	生産財	13	15	54	31	△16	12	8	75	17	△9
	消費財	20	0	80	20	△20	20	5	85	10	△5
	計	33	6	70	24	△18	32	6	81	13	△7
合計	435	9	68	23	△14	433	9	75	16	△7	

(5) 内航コンテナ

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、食料品・飲料が唯一プラスを示し、繊維・衣服および精密機械がゼロ水準にとどまる以外は、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『利用動向指数』は△13で、前期（2014年10～12月）実績から4ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、繊維・衣服がマイナスに沈む一方、パルプ・紙がプラスに浮上し、化学・プラスチックおよび消費財卸もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△7と6ポイント上昇する見通しであるが、利用は引き続き減退するとみられる。

内航コンテナ利用の実績と見通し

業 種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	29	17	69	14	3	29	21	69	10	11	
繊維・衣服	9	11	78	11	0	9	0	78	22	△22	
木材・家具	10	10	60	30	△20	10	0	80	20	△20	
パルプ・紙	20	15	65	20	△5	20	15	80	5	10	
化学・プラスチック	50	6	80	14	△8	49	10	80	10	0	
製 窯業・土石	5	0	80	20	△20	6	17	50	33	△16	
造 鉄鋼・非鉄	26	3	85	12	△9	26	3	85	12	△9	
業 金属製品	14	0	79	21	△21	14	0	86	14	△14	
一般機械	31	13	68	19	△6	31	3	74	23	△20	
電気機械	26	0	73	27	△27	26	0	88	12	△12	
輸送用機械	32	9	66	25	△16	32	12	72	16	△4	
精密機械	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0	
その他	20	10	55	35	△25	20	10	55	35	△25	
計	279	8	73	19	△11	279	8	77	15	△7	
卸売業	生産財	11	0	73	27	△27	11	0	82	18	△18
	消費財	17	0	76	24	△24	17	12	76	12	0
	計	28	0	75	25	△25	28	7	79	14	△7
合計	307	7	73	20	△13	307	8	77	15	△7	

(6) 国内航空

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『利用動向指数』は、金属製品が唯一プラスを示し、木材・家具など3業種がゼロ水準で、残り11業種がマイナスを示した。業種全体の『利用動向指数』は△16で、前期（2014年10～12月）実績から5ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『利用動向指数』見通しでは、精密機械がマイナスに沈む一方、繊維・衣服および消費財卸がゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『利用動向指数』は△16と横ばいで推移する見通しで、この結果、国内航空はすべての国内輸送機関のなかで『利用動向指数』がもっとも低く、利用の減退が続く見通しである。

国内航空利用の実績と見通し

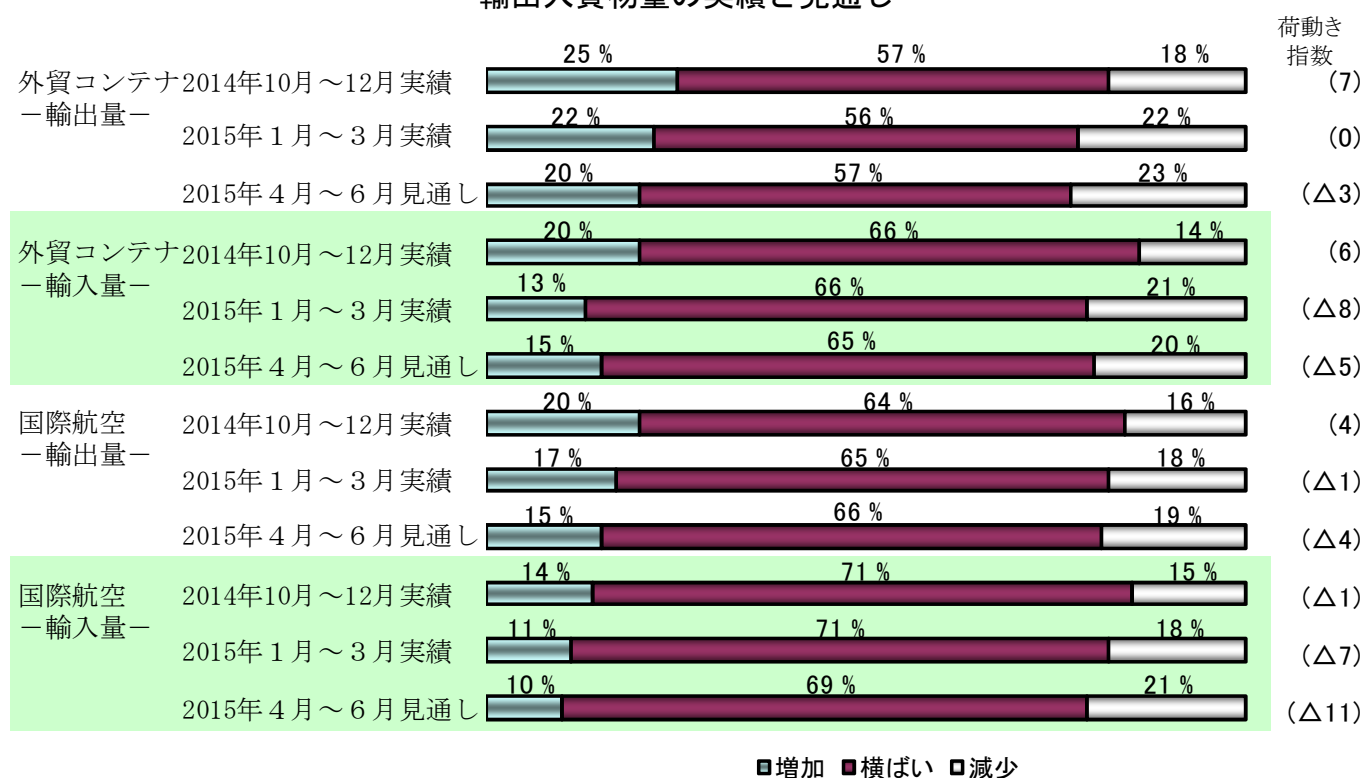
業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	回答社数	構成比(%)			利用動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	25	4	80	16	△12	25	4	80	16	△12
	繊維・衣服	10	10	70	20	△10	10	10	80	10	0
	木材・家具	8	13	74	13	0	7	14	72	14	0
	パルプ・紙	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
	化学・プラスチック	38	0	84	16	△16	38	0	84	16	△16
	窯業・土石	7	14	57	29	△15	7	0	71	29	△29
	鉄鋼・非鉄	20	10	70	20	△10	20	5	80	15	△10
	金属製品	16	6	94	0	6	16	6	94	0	6
	一般機械	40	12	63	25	△13	40	2	65	33	△31
	電気機械	60	12	60	28	△16	60	8	67	25	△17
	輸送用機械	34	3	76	21	△18	34	3	76	21	△18
	精密機械	13	8	84	8	0	13	0	92	8	△8
その他	18	0	61	39	△39	17	0	71	29	△29	
計	295	7	72	21	△14	293	4	76	20	△16	
卸売業	生産財	13	0	54	46	△46	13	0	69	31	△31
	消費財	19	5	74	21	△16	19	11	78	11	0
	計	32	3	66	31	△28	32	6	75	19	△13
合計	327	6	72	22	△16	325	4	76	20	△16	

－ 3. 輸出入貨物量の動向－

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』をみると、すべての輸送機関において前期（2014年10～12月）実績よりも低下し、外貿コンテナの輸出でゼロ水準にとどまる一方、その他の輸送機関ではマイナスを示した。

■ 2015年4～6月の見通しでは、外貿コンテナの輸入において『荷動き指数』が小幅ながら改善する一方、その他の輸送機関では悪化する見込みである。この結果、すべての輸送機関において『荷動き指数』がマイナスになるものとみられ、総じて荷動きの減退が予想される。

輸出入貨物量の実績と見通し



(1) 外貿コンテナ ー輸出ー

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、食料品・飲料、窯業・土石など9業種がプラス、パルプ・紙および生産財卸がゼロ水準で、繊維・衣服など4業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』はゼロ水準で、前期（2014年10～12月）実績からは7ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、木材・家具、鉄鋼・非鉄、一般機械の3業種がマイナスに沈み、精密機械および消費財卸もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△3と3ポイント低下する見通しで、荷動きは減退に向かうとみられる。

外貿コンテナによる輸出量の実績と見通し

業 種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	13	38	47	15	23	13	31	54	15	16
繊維・衣服	16	12	44	44	△ 32	16	19	50	31	△ 12
木材・家具	4	50	25	25	25	4	0	75	25	△ 25
パルプ・紙	20	25	50	25	0	20	25	50	25	0
化学・プラスチック	64	23	63	14	9	64	27	59	14	13
製 窯業・土石	16	38	38	24	14	16	38	31	31	7
造 鉄鋼・非鉄	41	22	59	19	3	41	17	63	20	△ 3
業 金属製品	23	13	65	22	△ 9	23	17	61	22	△ 5
一般機械	58	24	57	19	5	58	19	60	21	△ 2
電気機械	58	24	57	19	5	58	24	59	17	7
輸送用機械	49	16	41	43	△ 27	49	14	33	53	△ 39
精密機械	12	17	75	8	9	12	17	66	17	0
その他	27	19	59	22	△ 3	27	11	63	26	△ 15
計	401	22	55	23	△ 1	401	21	55	24	△ 3
卸 生産財	12	25	50	25	0	12	8	84	8	0
売 消費財	12	17	75	8	9	12	8	84	8	0
業 計	24	21	63	16	5	24	8	84	8	0
合計	425	22	56	22	0	425	20	57	23	△ 3

(2) 外貿コンテナ ー輸入ー

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、化学・プラスチック、一般機械、電気機械の3業種がプラスで、残り12業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△8で、前期（2014年10～12月）実績からは14ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、一般機械がマイナスに沈む一方、生産財卸がプラスに浮上し、食料品・飲料もゼロ水準まで戻す。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△5と3ポイント上昇する見通しで、荷動きの減退が続くものの、減退圧力はいくぶん緩和されるとみられる。

外貿コンテナによる輸入量の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少	
食料品・飲料	16	6	75	19	△13	16	19	62	19	0
繊維・衣服	16	12	44	44	△32	16	18	44	38	△20
木材・家具	14	21	50	29	△8	14	14	65	21	△7
パルプ・紙	10	10	70	20	△10	10	10	70	20	△10
化学・プラスチック	50	14	74	12	2	50	18	70	12	6
製 窯業・土石	17	11	65	24	△13	17	12	59	29	△17
造 鉄鋼・非鉄	31	6	68	26	△20	31	6	75	19	△13
業 金属製品	18	6	83	11	△5	18	6	83	11	△5
一般機械	53	17	70	13	4	53	17	64	19	△2
電気機械	59	20	66	14	6	59	19	66	15	4
輸送用機械	46	13	61	26	△13	46	19	57	24	△5
精密機械	13	15	54	31	△16	13	15	54	31	△16
その他	25	4	64	32	△28	25	4	68	28	△24
計	368	13	67	20	△7	368	15	65	20	△5
卸 生産財	16	6	63	31	△25	16	25	63	12	13
売 消費財	17	5	71	24	△19	17	5	71	24	△19
業 計	33	6	67	27	△21	33	15	67	18	△3
合計	401	13	66	21	△8	401	15	65	20	△5

(3) 国際航空 —輸出—

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、一般機械など4業種がプラス、繊維・衣服紙など5業種がゼロ水準で、化学・プラスチックなど6業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△1で、前期（2014年10～12月）実績からは5ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、化学・プラスチック、金属製品、電気機械の3業種がプラスに浮上する一方、一般機械など4業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△4と3ポイント低下する見通しで、荷動きは減退に向かうとみられる。

国際航空による輸出量の実績と見通し

業 種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製 造 業	食料品・飲料	6	0	67	33	△33	6	0	50	50	△50
	繊維・衣服	11	18	64	18	0	11	18	55	27	△9
	木材・家具	3	33	67	0	33	3	33	67	0	33
	パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
	化学・プラスチック	44	9	80	11	△2	44	14	77	9	5
	窯業・土石	10	20	70	10	10	10	20	70	10	10
	鉄鋼・非鉄	24	13	74	13	0	24	8	79	13	△5
	金属製品	16	0	94	6	△6	16	19	81	0	19
	一般機械	57	21	61	18	3	57	16	56	28	△12
	電気機械	73	19	62	19	0	72	22	60	18	4
	輸送用機械	44	25	50	25	0	44	9	61	30	△21
	精密機械	16	31	50	19	12	16	25	56	19	6
	その他	17	11	65	24	△13	17	0	82	18	△18
計	322	17	66	17	0	321	15	66	19	△4	
卸 売 業	生産財	11	9	55	36	△27	11	9	64	27	△18
	消費財	10	0	70	30	△30	10	0	90	10	△10
	計	21	5	62	33	△28	21	5	76	19	△14
合計	343	17	65	18	△1	342	15	66	19	△4	

(4) 国際航空 —輸入—

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『荷動き指数』は、窯業・土石および精密機械がプラス、繊維・衣服など4業種がゼロ水準で、一般機械、電気機械など9業種がマイナスとなった。業種全体の『荷動き指数』は△7で、前期（2014年10～12月）実績からは6ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『荷動き指数』見通しでは、金属製品がプラスに浮上し、化学・プラスチックおよび消費財卸もゼロ水準まで戻す一方、窯業・土石がマイナスに沈み、精密機械もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『荷動き指数』は△11と4ポイント低下する見通しで、荷動きはいつそう減退するとみられる。

国際航空による輸入量の実績と見通し

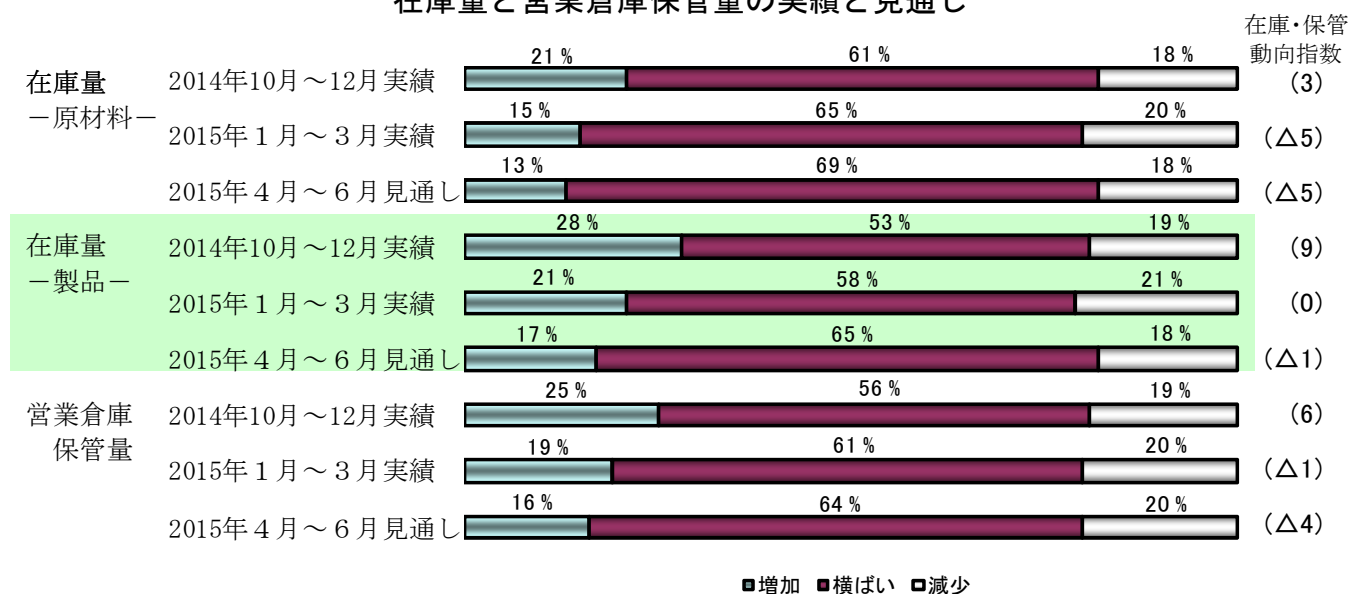
業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	回答社数	構成比(%)			荷動き指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
製造業	食料品・飲料	8	0	63	37	△37	8	0	50	50	△50
	繊維・衣服	9	22	56	22	0	9	22	56	22	0
	木材・家具	2	0	100	0	0	2	0	100	0	0
	パルプ・紙	1	0	100	0	0	1	0	100	0	0
	化学・プラスチック	38	7	82	11	△4	38	11	78	11	0
	窯業・土石	8	25	63	12	13	8	12	63	25	△13
	鉄鋼・非鉄	20	0	80	20	△20	20	0	80	20	△20
	金属製品	12	0	100	0	0	12	8	92	0	8
	一般機械	47	11	72	17	△6	47	8	62	30	△22
	電気機械	61	11	71	18	△7	61	13	67	20	△7
	輸送用機械	37	13	68	19	△6	37	8	73	19	△11
	精密機械	16	31	44	25	6	16	25	50	25	0
その他	18	11	56	33	△22	18	6	61	33	△27	
計	277	11	71	18	△7	277	10	69	21	△11	
卸売業	生産財	9	11	56	33	△22	9	11	67	22	△11
	消費財	11	0	91	9	△9	11	9	82	9	0
	計	20	5	75	20	△15	20	10	75	15	△5
合計	297	11	71	18	△7	297	10	69	21	△11	

－ 4. 在庫量と営業倉庫利用の動向－

■ 2015年1～3月実績（見込み）の在庫量と営業倉庫保管量の動向をみると、すべての『動向指数』が前期（2014年10～12月）実績よりも低下した。製品在庫ではゼロ水準にとどまる一方、原材料在庫および営業倉庫保管量ではマイナスに沈んだ。

■ 2015年4～6月の見通しについては、原材料在庫で『動向指数』が横ばいで推移する一方、製品在庫および営業倉庫保管量では小幅ながら低下する見込みである。この結果、すべての『動向指数』がマイナスとなり、在庫量および営業倉庫保管量は縮小の方向に動くと思われる。

在庫量と営業倉庫保管量の実績と見通し



(1) 在庫量 —原材料—

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、食料品・飲料および精密機械がプラス、一般機械および電気機械がゼロ水準で、残り11業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』は△5で、前期（2014年10～12月）実績からは8ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および一般機械がプラスに浮上し、生産財卸もゼロ水準まで戻す一方、電気機械がマイナスに沈み、精密機械もゼロ水準まで下降する。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△5と横ばいの推移が見込まれ、原材料在庫は縮小の動きが続くとみられる。

在庫量（原材料）の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	79	18	68	14	4	79	15	74	11	4	
繊維・衣服	37	8	78	14	△6	37	8	68	24	△16	
木材・家具	38	18	48	34	△16	38	10	58	32	△22	
パルプ・紙	41	12	59	29	△17	41	2	74	24	△22	
化学・プラスチック	100	13	73	14	△1	100	12	75	13	△1	
製 窯業・土石	31	13	71	16	△3	31	13	71	16	△3	
造 鉄鋼・非鉄	92	19	60	21	△2	92	17	68	15	2	
業 金属製品	47	8	64	28	△20	47	2	77	21	△19	
一般機械	76	18	64	18	0	76	20	64	16	4	
電気機械	110	17	66	17	0	110	13	69	18	△5	
輸送用機械	77	19	56	25	△6	77	16	58	26	△10	
精密機械	20	25	60	15	10	20	15	70	15	0	
その他	50	10	76	14	△4	50	8	72	20	△12	
計	798	16	65	19	△3	798	13	69	18	△5	
卸売業	生産財	28	7	64	29	△22	28	14	72	14	0
消費財	34	15	53	32	△17	34	8	74	18	△10	
計	62	11	58	31	△20	62	11	73	16	△5	
合計	860	15	65	20	△5	860	13	69	18	△5	

(2) 在庫量 —製品—

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『在庫動向指数』は、鉄鋼・非鉄など5業種がプラス、精密機械がゼロ水準で、窯業・土石、金属製品など9業種がマイナスとなった。業種全体の『在庫動向指数』はゼロ水準で、前期（2014年10～12月）実績からは9ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『在庫動向指数』見通しでは、化学・プラスチックがプラスに浮上する一方、輸送用機械および精密機械がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『在庫動向指数』は△1と弱含み横ばいの推移が見込まれ、製品在庫はわずかながら縮小に向かうとみられる。

在庫量（製品）の実績と見通し

業 種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	回答社数	構成比(%)			在庫動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	79	23	62	15	8	78	19	69	12	7	
繊維・衣服	35	23	51	26	△3	35	17	57	26	△9	
木材・家具	40	19	53	28	△9	40	17	58	25	△8	
パルプ・紙	41	32	49	19	13	41	20	63	17	3	
化学・プラスチック	105	16	64	20	△4	105	20	66	14	6	
窯業・土石	32	6	63	31	△25	32	13	59	28	△15	
鉄鋼・非鉄	94	33	54	13	20	94	21	66	13	8	
金属製品	51	16	55	29	△13	51	15	61	24	△9	
一般機械	79	28	58	14	14	79	25	61	14	11	
電気機械	113	19	54	27	△8	112	16	60	24	△8	
輸送用機械	79	23	58	19	4	79	15	61	24	△9	
精密機械	23	22	56	22	0	23	13	70	17	△4	
その他	54	16	65	19	△3	54	7	73	20	△13	
計	825	22	58	20	2	823	18	63	19	△1	
卸売業	生産財	43	14	60	26	△12	43	9	79	12	△3
	消費財	45	16	62	22	△6	45	11	73	16	△5
	計	88	15	61	24	△9	88	10	76	14	△4
合計	913	21	58	21	0	911	17	65	18	△1	

(3) 営業倉庫保管量

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『保管動向指数』は、一般機械など6業種がプラス、食料品・飲料など3業種がゼロ水準で、窯業・土石など6業種がマイナスとなった。業種全体の『保管動向指数』は△1で、前期（2014年10～12月）実績からは7ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『保管動向指数』見通しでは、食料品・飲料および生産財卸がプラスに浮上する一方、電気機械など4業種がマイナスに沈む。この結果、業種全体の『保管動向指数』は3ポイント低下して△4と見込まれ、営業倉庫保管量は縮小に向かうとみられる。

営業倉庫保管量の実績と見通し

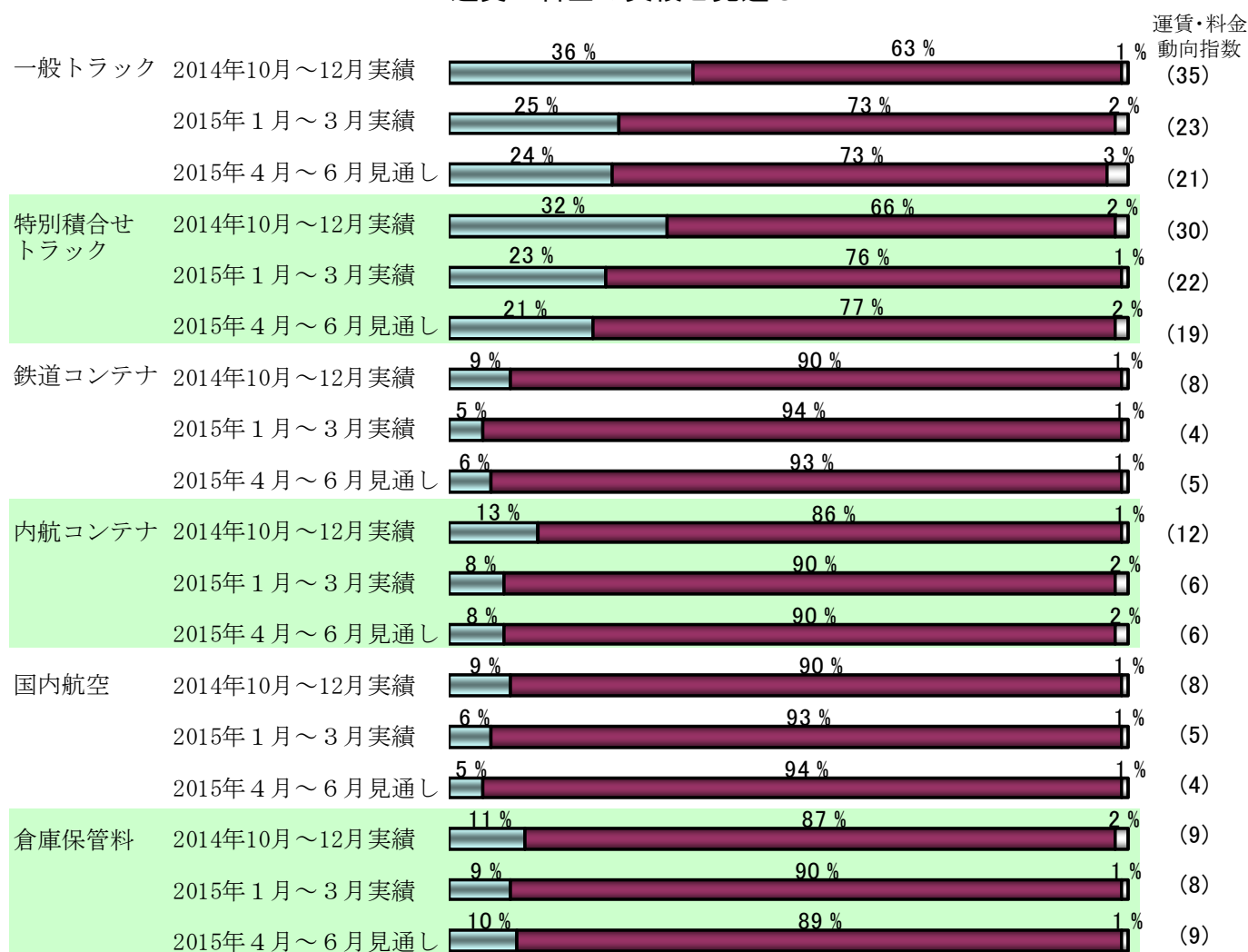
業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	回答社数	構成比(%)			保管動向指数	
		増加	横ばい	減少			増加	横ばい	減少		
食料品・飲料	69	19	62	19	0	69	20	63	17	3	
繊維・衣服	24	13	58	29	△16	24	13	54	33	△20	
木材・家具	31	19	65	16	3	31	16	65	19	△3	
パルプ・紙	37	24	57	19	5	37	22	65	13	9	
化学・プラスチック	90	20	60	20	0	90	18	62	20	△2	
窯業・土石	20	0	50	50	△50	20	10	45	45	△35	
鉄鋼・非鉄	71	21	69	10	11	70	16	76	8	8	
金属製品	34	12	62	26	△14	34	5	71	24	△19	
一般機械	57	26	60	14	12	57	30	49	21	9	
電気機械	79	22	59	19	3	79	13	68	19	△6	
輸送用機械	60	20	47	33	△13	60	15	53	32	△17	
精密機械	14	29	57	14	15	14	14	65	21	△7	
その他	39	13	72	15	△2	39	15	64	21	△6	
計	625	19	61	20	△1	624	16	63	21	△5	
卸売業	生産財	36	19	62	19	0	36	19	64	17	2
	消費財	40	9	68	23	△14	40	7	75	18	△11
	計	76	14	65	21	△7	76	13	70	17	△4
合計	701	19	61	20	△1	700	16	64	20	△4	

－ 5. 運賃・料金の動向－

■ 2015年1～3月の運賃・料金水準『動向指数』実績（見込み）は、すべての機関においてプラスとなったが、すべての機関において前期（2014年10～12月）実績よりも低下した。

■ 2015年4～6月の『動向指数』見通しについては、総じて小幅な動きとなり、鉄道コンテナおよび倉庫保管料で強含み横ばい、内航コンテナでは横ばいとなる一方、残りの3機関においては低下する見込みである。この結果、引き続きすべての機関で『動向指数』がプラスとなり、運賃・料金の上昇基調に変化はないが、やや一服感がみられる。

運賃・料金の実績と見通し



■値上り ■変わらず □値下り

(1) 一般トラック運賃

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、全15業種が2ケタのプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス23で、前期(2014年10～12月)実績からは12ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、11業種においてプラス幅が縮小する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント低下してプラス21と見込まれ、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、増勢は若干弱まるとみられる。

一般トラック運賃の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
食料品・飲料	88	40	59	1	39	88	45	54	1	44	
繊維・衣服	33	27	73	0	27	33	21	79	0	21	
木材・家具	37	27	70	3	24	36	28	72	0	28	
パルプ・紙	44	27	71	2	25	44	41	57	2	39	
化学・プラスチック	104	37	61	2	35	104	36	62	2	34	
製造業	窯業・土石	33	27	70	3	24	33	21	76	3	18
	鉄鋼・非鉄	99	23	72	5	18	99	19	71	10	9
	金属製品	55	27	73	0	27	54	22	78	0	22
	一般機械	84	19	80	1	18	84	18	81	1	17
	電気機械	119	17	82	1	16	118	16	82	2	14
	輸送用機械	81	20	73	7	13	81	16	78	6	10
	精密機械	23	13	87	0	13	23	9	91	0	9
	その他	52	31	67	2	29	50	28	72	0	28
	計	852	26	72	2	24	847	25	72	3	22
	卸売業	生産財	47	21	77	2	19	47	15	81	4
消費財		51	20	80	0	20	51	22	78	0	22
計		98	20	79	1	19	98	18	80	2	16
合計	950	25	73	2	23	945	24	73	3	21	

(2) 特別積合せトラック運賃

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具、輸送用機械、精密機械の3業種が1ケタのプラスにとどまる以外は、残り12業種が2ケタのプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス22で、前期(2014年10～12月)実績からは8ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、総じて小幅な動きとなり、7業種においてプラス幅が縮小する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』は3ポイント低下してプラス19と見込まれ、運賃水準の上昇圧力は依然として強いものの、増勢は若干弱まるとみられる。

特別積合せトラック運賃の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	65	37	63	0	37	64	38	61	1	37
	繊維・衣服	31	26	74	0	26	31	16	81	3	13
	木材・家具	24	13	83	4	9	23	13	87	0	13
	パルプ・紙	25	28	72	0	28	25	36	64	0	36
	化学・プラスチック	89	39	59	2	37	89	35	63	2	33
	窯業・土石	26	23	77	0	23	26	23	77	0	23
	鉄鋼・非鉄	60	25	75	0	25	60	22	75	3	19
	金属製品	39	21	79	0	21	39	18	82	0	18
	一般機械	63	14	84	2	12	62	19	78	3	16
	電気機械	92	13	86	1	12	92	11	87	2	9
	輸送用機械	69	13	81	6	7	70	11	82	7	4
	精密機械	14	7	93	0	7	14	7	93	0	7
	その他	38	29	71	0	29	37	16	84	0	16
計	635	23	76	1	22	632	21	77	2	19	
卸売業	生産財	37	16	84	0	16	37	16	84	0	16
	消費財	40	22	78	0	22	40	22	78	0	22
	計	77	19	81	0	19	77	19	81	0	19
合計	712	23	76	1	22	709	21	77	2	19	

(3) 鉄道コンテナ運賃

- 2015年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、繊維・衣服、消費財卸など10業種がプラスで、木材・家具など5業種がゼロ水準となった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス4で、前期(2014年10～12月)実績からは4ポイント低下した。
- 2015年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、金属製品および一般機械がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス5と強含み横ばいの動きが見込まれ、運賃水準の上昇圧力はわずかながら強まるとみられる。

鉄道コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	45	4	96	0	4	45	4	94	2	2
繊維・衣服	13	15	85	0	15	14	14	79	7	7
木材・家具	18	0	100	0	0	18	0	100	0	0
パルプ・紙	32	3	97	0	3	32	9	91	0	9
化学・プラスチック	79	6	91	3	3	79	5	92	3	2
製 窯業・土石	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
造 鉄鋼・非鉄	41	5	95	0	5	41	5	95	0	5
業 金属製品	18	0	100	0	0	18	6	94	0	6
一般機械	33	3	94	3	0	33	6	94	0	6
電気機械	33	0	100	0	0	33	0	100	0	0
輸送用機械	35	9	88	3	6	35	6	91	3	3
精密機械	9	0	100	0	0	9	0	100	0	0
その他	21	10	90	0	10	19	11	89	0	11
計	390	5	94	1	4	389	5	94	1	4
卸 生産財	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
業 消費財	19	11	89	0	11	19	11	89	0	11
計	32	9	91	0	9	32	9	91	0	9
合計	422	5	94	1	4	421	6	93	1	5

(4) 内航コンテナ運賃

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、木材・家具および一般機械がマイナス、鉄鋼・非鉄および精密機械がゼロ水準で、残り11業種がプラスとなった。業種全体の『運賃動向指数』はプラス6で、前期(2014年10～12月)実績からは6ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、鉄鋼・非鉄および輸送用機械がマイナスに沈み、繊維・衣服もゼロ水準まで下降する一方、一般機械がプラスに浮上する。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス6と横ばいの動きが見込まれ、運賃水準の上昇の動きに変化はないとみられる。

内航コンテナ運賃の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し					
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り		
製造業	食料品・飲料	27	11	85	4	7	27	15	81	4	11
	繊維・衣服	8	12	88	0	12	7	0	100	0	0
	木材・家具	9	0	89	11	△11	9	0	89	11	△11
	パルプ・紙	18	11	83	6	5	17	12	82	6	6
	化学・プラスチック	51	8	90	2	6	51	6	92	2	4
	窯業・土石	7	14	86	0	14	7	14	86	0	14
	鉄鋼・非鉄	25	4	92	4	0	24	0	96	4	△4
	金属製品	13	8	92	0	8	13	8	92	0	8
	一般機械	29	0	97	3	△3	29	3	97	0	3
	電気機械	28	14	86	0	14	28	11	89	0	11
	輸送用機械	29	7	90	3	4	29	3	87	10	△7
	精密機械	8	0	100	0	0	8	0	100	0	0
	その他	19	5	95	0	5	19	5	95	0	5
計	271	7	90	3	4	268	6	91	3	3	
卸売業	生産財	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
	消費財	15	20	80	0	20	15	27	73	0	27
	計	24	17	83	0	17	24	21	79	0	21
合計	295	8	90	2	6	292	8	90	2	6	

(5) 国内航空運賃

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『運賃動向指数』は、食料品・飲料、化学・プラスチックなど8業種がプラス、木材・家具など6業種がゼロ水準で、輸送用機械が唯一マイナスを示した。業種全体の『運賃動向指数』はプラス5で、前期（2014年10～12月）実績からは3ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『運賃動向指数』見通しでは、電気機械がプラスに浮上する一方、金属製品がゼロ水準まで下降する以外に動きはみられない。この結果、業種全体の『運賃動向指数』はプラス4と弱含み横ばいの推移が見込まれ、運賃水準の上昇圧力はわずかながら弱まるとみられる。

国内航空運賃の実績と見通し

業 種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数	回答社数	構成比(%)			運賃動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	20	15	85	0	15	20	15	85	0	15
繊維・衣服	9	11	89	0	11	9	11	89	0	11
木材・家具	6	0	100	0	0	6	0	100	0	0
パルプ・紙	4	0	100	0	0	4	0	100	0	0
化学・プラスチック	39	10	90	0	10	39	10	90	0	10
窯業・土石	7	0	100	0	0	7	0	100	0	0
鉄鋼・非鉄	23	0	100	0	0	23	0	100	0	0
金属製品	15	13	87	0	13	14	0	100	0	0
一般機械	43	5	95	0	5	43	5	95	0	5
電気機械	55	4	92	4	0	55	4	94	2	2
輸送用機械	32	0	94	6	△6	32	0	94	6	△6
精密機械	13	0	100	0	0	13	0	100	0	0
その他	19	5	95	0	5	19	5	95	0	5
計	285	5	94	1	4	284	5	94	1	4
卸売業										
生産財	14	7	93	0	7	14	7	93	0	7
消費財	15	13	87	0	13	15	13	87	0	13
計	29	10	90	0	10	29	10	90	0	10
合計	314	6	93	1	5	313	5	94	1	4

(6) 営業倉庫保管料金

■ 2015年1～3月実績（見込み）の『料金動向指数』は、全15業種がプラスとなった。業種全体の『料金動向指数』はプラス8で、前期(2014年10～12月)実績からは弱含み横ばいで推移した。

■ 2015年4～6月の『料金動向指数』見通しでは、総じて小幅な動きとなり、輸送用機械がゼロ水準まで下降する一方、6業種においてプラス幅が拡大する。業種全体の『料金動向指数』はプラス9と強み横ばいの推移が見込まれ、料金水準の上昇圧力は引き続き強い。

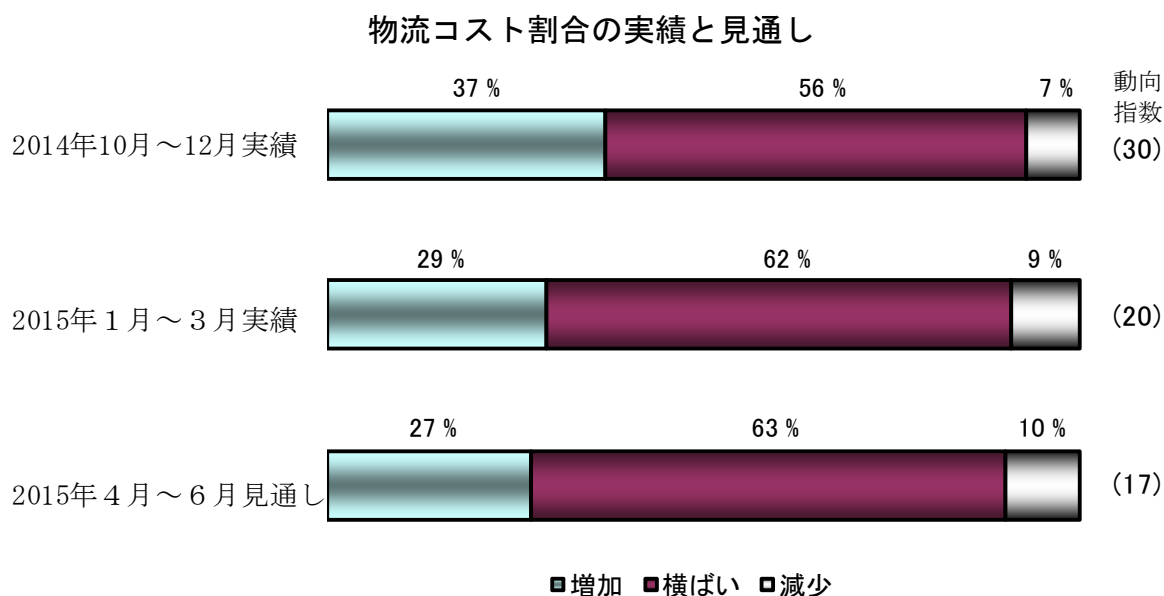
営業倉庫保管料金の実績と見通し

業種	2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
	回答社数	構成比(%)			料金動向指数	回答社数	構成比(%)			料金動向指数
		値上り	不変	値下り			値上り	不変	値下り	
食料品・飲料	57	19	81	0	19	57	19	79	2	17
繊維・衣服	20	20	80	0	20	19	21	79	0	21
木材・家具	20	5	95	0	5	19	5	95	0	5
パルプ・紙	35	9	91	0	9	35	9	91	0	9
化学・プラスチック	83	10	90	0	10	83	13	87	0	13
製 窯業・土石	18	6	94	0	6	18	6	94	0	6
造 鉄鋼・非鉄	55	7	91	2	5	55	9	89	2	7
業 金属製品	28	7	93	0	7	28	7	93	0	7
一般機械	55	11	89	0	11	53	9	91	0	9
電気機械	67	3	96	1	2	67	6	93	1	5
輸送用機械	54	7	87	6	1	54	7	86	7	0
精密機械	11	9	91	0	9	11	9	91	0	9
その他	34	3	97	0	3	32	6	94	0	6
計	537	9	90	1	8	531	10	89	1	9
卸 生産財	31	6	94	0	6	31	13	87	0	13
売 消費財	30	13	87	0	13	30	13	87	0	13
計	61	10	90	0	10	61	13	87	0	13
合計	598	9	90	1	8	592	10	89	1	9

－ 6. 物流コスト割合の動向－

■ 売上高に対する物流コスト割合の動向について、2015年1～3月実績（見込み）の『動向指数』は、輸送用機械が唯一1ケタのプラスにとどまる以外は、残り14業種が2ケタのプラスとなった。業種全体の『動向指数』はプラス20で、前期（2014年10～12月）実績からは10ポイント低下した。

■ 2015年4～6月の『動向指数』見通しでは、輸送用機械がゼロ水準まで下降するなど、10業種において低下がみられる。この結果、業種全体の『動向指数』は3ポイント低下してプラス17と見込まれ、物流コスト割合の上昇圧力は依然として強いものの、増勢は若干弱まるとみられる。



物流コスト割合の実績と見通し

業 種		2015年1月～3月実績					2015年4月～6月見通し				
		回答 社数	構成比(%)			動 向 指 数	回答 社数	構成比(%)			動 向 指 数
			上昇	不変	下降			上昇	不変	下降	
製 造 業	食 料 品 ・ 飲 料	92	48	47	5	43	92	56	40	4	52
	織 維 ・ 衣 服	39	36	56	8	28	39	31	56	13	18
	木 材 ・ 家 具	40	35	53	12	23	39	33	57	10	23
	パ ル プ ・ 紙	45	27	60	13	14	45	36	51	13	23
	化学・プラスチック	108	30	61	9	21	108	27	64	9	18
	窯 業 ・ 土 石	34	29	62	9	20	34	18	68	14	4
	鉄 鋼 ・ 非 鉄	101	25	67	8	17	101	20	73	7	13
	金 属 製 品	57	32	61	7	25	57	26	62	12	14
	一 般 機 械	84	26	68	6	20	84	21	71	8	13
	電 気 機 械	125	26	66	8	18	125	22	66	12	10
	輸 送 用 機 械	84	20	63	17	3	84	18	64	18	0
	精 密 機 械	24	25	75	0	25	24	25	71	4	21
	そ の 他	53	26	65	9	17	53	30	59	11	19
計	886	29	62	9	20	885	28	62	10	18	
卸 売 業	生 産 財	50	20	72	8	12	50	18	76	6	12
	消 費 財	54	31	58	11	20	54	26	65	9	17
	計	104	26	64	10	16	104	22	70	8	14
合 計	990	29	62	9	20	989	27	63	10	17	